



GOOD DESIGN AWARD 2014年度受賞

地域復興とデザイン教育を連携させる「十三浜プロジェクト」が 2014年度グッドデザイン賞を受賞しました

十三浜仮設住宅自治会、特定非営利活動法人水守の郷・セヶ宿、登米町森林組合、日本工学院八王子専門学校、特定非営利活動法人山の自然学クラブが、地域復興とデザイン教育の連携プロジェクトとして取り組んだ「十三浜プロジェクト」が「2014年度グッドデザイン賞」（主催：公益財団法人日本デザイン振興会）を受賞しました。

同賞は日本で唯一の総合的なデザイン評価・推奨の仕組みで、受賞のシンボルである「Gマーク」は、よいデザインを示すシンボルマークとして広く親しまれています。「十三浜プロジェクト」は「C5-1. 公共向けの活動・取り組み、社会貢献活動」「C5-3. 都市づくり、地域づくり、コミュニティづくり」の категорияで受賞となりました。



2014年度グッドデザイン賞受賞対象のページ
<http://www.g-mark.org/>

※これらの画像は受賞対象のWEBページを
キャプチャしたものです

受賞対象の内容

受賞対象名： 十三浜プロジェクト
受賞番号： 14G141151
事業主体名： 十三浜仮設住宅自治会
特定非営利活動法人水守の郷・七ヶ宿
登米町森林組合
日本工学院八王子専門学校 建築学科／建築設計科
特定非営利活動法人山の自然学クラブ
分類： 公共向けの活動・取り組み、社会貢献活動（ユニット・14）

審査委員のコメント：「宮城県石巻市における、地域住民と都会の建築学生が協力しておこなう復興の取り組み。地域再生に役立たせるための機能的な小屋や遊具を提案し、実際に使う住民との意見交換を繰り返しながら、デザインをブラッシュアップしていくしくみとしている。地域住民を巻き込んだ仕組み、そして復興支援と教育のためのトレーニングをバランス良く両立させている点が評価された」

以下、賞の応募に際し提出した、応募対象の実現までの取り組みや応募対象の社会的価値について記載する「応募対象の概要」および「応募対象の詳細」の内容をご報告します。

プロジェクトの概要：東日本震災で被災した地域の「復興への挑戦」と、都会で建築を学ぶ「学生の挑戦」。双方の軌を一にし、持続的な復興につなげる地域再生プランの取り組み。津波被害で枯れた樹木を伐採・製材し、日本工学院八王子専門学校の学生が授業課題「はじめての建築」として 2m 四方の小屋などを制作、現地に返します。現地を支援する NPO 法人と専門学校の教員が宮城県石巻市十三浜地区の自治会から要望を聞き取り実施。生活や仕事に役立つよう、仮設住宅の休憩スペースや、作業小屋、子育て支援センターの遊具などを学生がデザイン・制作し、現地に設置します。今後の高台移転や産業再生計画の中でも継続的に展開される予定です。

デザインコンセプト：都会の学生が住民と対話し、地産材でミニマルな小屋を設計・製作。運搬や手直しが容易なつくり配慮。

企画・開発の意義：使い手と、使われ方を良く知らなくては優れた建築は生まれない。そのことを地元の方々との交流の中で若い学生に学んでもらい、デザイン・制作を進め、成果を地域の復興につなげます。地元の木材を使った温もりのある小屋や休憩スペース、遊具が少しずつ増え、人々が楽しく前向きに仕事をし、子どもたちの笑顔が戻るようになります。学生のフレッシュな創造性を、無理のないスキームで地域の活力につなげていくことができます。

創意工夫：木材の伐採・製材は宮城県、デザイン・制作は日本工学院がある八王子、設置は再び宮城県と、離れた地域を結ぶ取り組みを関係諸団体のほか、地元の森林組合などの協力も得て実現しました。制作物は、2 m 四方という法規的に問題なく、通常のトラックで運搬できるサイズとしました。学生が発想を上げられる自由を確保しつつ、運搬のためキット方式で分解・組立がしやすい工夫が必要でした。高齢者や子供たちも使用するので安全面に配慮し、いずれも無垢材で木材の手触りを楽しめるものにしました。こうした小屋などの建築物は地域の特性を考慮したものであるべきと考えます。風が強い沿海部の地域には、スチール製の市販の小

屋ではなく木製の重量のある小屋のほうが適しています。このプロジェクトが浸透すれば、日本全国同じ小屋が並ぶ風景ではなく、地域ごとに特徴を持った地産材の小屋が増えていき、間伐材や小径木の利用にも寄与できると考えています。

デザイナーの想い：デザインして組立てたものが完成形ではありません。この計画は組立てた小屋に現地で使用者の意見を取り入れた調整を行うことが特徴です。これまで直接触れあう機会がなかった、都会で建築を学ぶ学生と、海と共に暮らす住民たち。両者がこの活動で結びつきます。例えば、八王子で制作したベンチを実際に座る仮設の方から話を聞き現地で修正制作などを行うことで使い手の意見を取り入れてより愛用していただけるようにしています

「グッドデザインエキシビション 2014」(G展)の開催と展示発表

2014年10月31日(金)～11月4日(火)に東京ミッドタウン内各所にて、グッドデザイン賞受賞対象がすべて展示される、「グッドデザインエキシビション 2014」(G展)が開催されました(公益財団法人日本デザイン振興会主催)。この時期はミッドタウン全体で開催している「Tokyo Midtown DESIGN TOUCH」など、近隣施設ではデザイン関係のイベントが集中して開催され、多くの方が訪れます。

本・十三浜プロジェクトはパネルによる展示発表を行いました。多くの方にご覧頂き、たいへん喜ばしく思います。

また、日本工学院八王子専門学校の教職員、学生はじめ関係各位へ入場招待券を配布したり、受賞展のご案内をさせて頂くなどするとともに、会場のご案内をさせて頂きました。



この活動は、十三浜相川のみなさんをはじめとした地域の方々と、すべての取り組み主体が協力し合って取り組んできたことが形になった証しだと私たちは考えています。さまざまな過程でご協力頂きましたみなさまに御礼申し上げます。

今後とも、地域間の交流を大切にしたい取り組みを続けて参ります。